

経営改善計画

| | | | |
|-----|-----------|------|-------------|
| 法人名 | 株式会社 川崎球場 | 所管部署 | 建設緑政局総務部庶務課 |
|-----|-----------|------|-------------|

【1: 経営の基本的考え方】

| | |
|---------------------|--|
| 川崎市が期待する 役割と経営改革 | <p>①期待する役割 当該法人は、昭和26年から川崎球場の管理運営を通じて各種スポーツの育成及び振興に努めており、川崎球場を本市の施策であるアメリカンフットボールを中心とした各種スポーツの拠点として、スポーツを通じて魅力ある川崎のまちづくりの一翼を担っている。 平成24年度から富士見周辺地区整備基本計画の推進による球場のスタンド整備を行うため、工事期間中の安全対策を含め、各種利用団体との円滑な利用調整を図る。 さらに工事に伴い、スタンドや駐車場の利用範囲が制限されるため、収入が減少することが想定されるが、支出を削減して収益を確保し、累積欠損金の減少を図る。</p> <p>②経営改革項目 ・アメリカンフットボールをはじめとした各種スポーツ及び大会を川崎球場に誘致し収益の向上を図る。 ・駐車場事業については、競輪場の開催日数の増大に伴い利用枠の拡大や大型車の利用増を図っていく。 ・平成24年度から始まるスタンドの工事により、アメリカンフットボールの公式試合や駐車場事業に影響が想定されるため、支出を削減し累積欠損金の削減を図る。 ・工事期間中のグランド利用においては、利用団体の安全確保に努める。</p> |
| 法人のミッション | 川崎球場をアメリカンフットボールを中心とした多目的スポーツ施設として管理運営を行い、スポーツの発展・振興に寄与する。 |
| 現状及び課題の分析 | アメリカンフットボールを中心とした各種スポーツ競技大会及びイベント等の誘致を行っているが、今後は平日の稼働率を上げるための経営努力を行っていく。 また、当該施設及び隣接している駐車場を一体的に管理し効率的・効果的に事業を行っているが、今後は大型車等の利用増を図っていく。 富士見周辺地区整備基本計画において、事業基盤の施設形態が変更されることにより、事業運営に与える影響の程度を分析し、対策を検討する必要がある。 |
| 経営ビジョン | 川崎球場をアメリカンフットボールを中心とした多目的スポーツ施設として管理運営し、各種スポーツ競技大会などの誘致を行い、アメリカンフットボールをはじめ各種スポーツの発展・振興に寄与するとともに、収益の向上を図り効率的な事業運営を進め財政状況を改善する。 |

経営改善計画

| | | | |
|-----|-----------|------|-------------|
| 法人名 | 株式会社 川崎球場 | 所管部署 | 建設緑政局総務部庶務課 |
|-----|-----------|------|-------------|

| | 3年後の法人像 | 3カ年計画の目標 | 事業名 | 事業目的 | 最終アウトカム (最終的に求める効果) | 中間アウトカム (事業実施の効果) | アウトプット (事業実施の成果) |
|----------------|---|--------------------|---|--|------------------------|---|---|
| 3カ年の目標と成果指標の体系 | 川崎球場をアメリカンフットボールを中心とした多目的スポーツ施設として運営し利用者の増を図るとともに財政状況の改善を図る | 利便性の高い環境整備及び効率的な運営 | 球場事業 | アメリカンフットボールを中心とした多目的な施設貸出を行い利用者の増を図るとともに収益の向上を図る | 球場利用者の増を図り収益の向上を図る | スポーツ競技試合数の増 【スポーツ競技大会試合数】 一般の球場利用の増 【一般の球場利用数】 | アメリカンフットボールや各種スポーツ競技大会の誘致(関東学生アメフト加盟28大学・日本社会人協会6団体) 昼間の時間帯のフットサル・ラクロス等の貸出日数の増への誘致(関東ラクロス加盟24大学) |
| | | | 駐車場事業 | 川崎球場及び近隣公共施設利用者への利便性を向上させ安定した収益の確保を図る | 駐車場利用者の増を図り収益の向上を図る | 競輪場の利用枠の拡大 大型車の利用増 | 競輪場に利用枠拡大への働きかけ 大型車の誘致(近隣ホテル等15件) |
| 法人の主な事業内容 | 球場事業 | | アメリカンフットボール、フットサル、ソフトボール、企業の運動会開催等への施設の貸出を行う。 | | | | |
| | 駐車場事業 | | 川崎球場及び近隣公共施設利用者への利便性を向上させるため、駐車場の管理運営を行う。 | | | | |

経営改善計画

| | | | |
|-----|-----------|------|-------------|
| 法人名 | 株式会社 川崎球場 | 所管部署 | 建設緑政局総務部庶務課 |
|-----|-----------|------|-------------|

| | | |
|----------|----------|---|
| 3カ年の経営課題 | 球場事業 | 23年度は、アメリカンフットボール大会の日数・試合数を5%増加させること及び1部リーグの試合を増やすことにより、観客数を5%増加させる。24-25年度は、スタンド工事のため1部リーグの試合の減が予想されるが、練習等の利用を可能な限り追求していく。 |
| | 駐車場事業 | 23-24年度は、通常通り営業できる予定だが、24年度はスタンド工事の関係から1部リーグの試合が減少するのでその影響が駐車場にも出る。25年度は第2駐車場が工事区域に入ることから収入減は避けられなくなる。 |
| | 財務改善 | この3カ年は、スタンド工事の関係から収入減が見込まれることから、23年度から業務の見直しで支出面の削減を図り、単年度収益の確保、累積欠損金の減に努める。 |
| | 業務・組織の改革 | 清掃業務等の委託を始め、業務の見直しを行う。 |

経営改善計画

| | | | |
|-----|-----------|------|-------------|
| 法人名 | 株式会社 川崎球場 | 所管部署 | 建設緑政局総務部庶務課 |
|-----|-----------|------|-------------|

| | 項目 | 指標の種類 | 指標 | 指標の選定理由 | 目標値(単位) | 目標値の設定根拠 |
|-------------|----------|---------|---------------|--|-----------|--|
| 指標と目標値の設定根拠 | 球場事業 | アウトプット | スポーツ競技大会の誘致 | 競技大会試合数の増を図るには、利用団体への働きかけが必要のため | 34(団体) | 24-25年度にスタンド工事が予定されており、球場利用が制限されることになる。工事の詳細が具体化してから、可能な限り調整を行い利用の拡大を図る。 |
| | | アウトプット | 一般屋間の貸出日数増の誘致 | 一般屋間の貸出しの増を図るには、利用団体への働きかけが必要のため | 24(団体) | 24-25年度にスタンド工事が予定されており、球場利用が制限されることになる。工事の詳細が具体化してから、可能な限り調整を行い利用の拡大を図る。 |
| | | 中間アウトカム | スポーツ競技大会試合数 | 球場利用状況を把握する指標として重要なため | 90(試合) | 24-25年度にスタンド工事が予定されており、球場利用が制限されることになる。工事の詳細が具体化してから、可能な限り調整を行い利用の拡大を図る。 |
| | | 中間アウトカム | 一般の球場利用数 | 球場利用状況を把握する指標として重要なため | 390(回) | 24-25年度にスタンド工事が予定されており、球場利用が制限されることになる。工事の詳細が具体化してから、可能な限り調整を行い利用の拡大を図る。 |
| | | 最終アウトカム | 観客数 | 球場利用状況を把握する指標として重要なため | 60,000(人) | 24-25年度にスタンド工事が予定されており、球場利用が制限されることになる。工事の詳細が具体化してから、可能な限り調整を行い利用の拡大を図る。 |
| | | 最終アウトカム | 球場利用回数 | スポーツ競技大会開催日数と一般の球場利用数の合計の数字ではあるが、球場利用状況を把握する指標として重要なため | 450(回) | 24-25年度にスタンド工事が予定されており、球場利用が制限されることになる。工事の詳細が具体化してから、可能な限り調整を行い利用の拡大を図る。 |
| | 駐車場事業 | アウトプット | 競輪場に利用拡大の働きかけ | 競輪の開催にあわせて働きかけを行うことで、利用増を図ることができるため | 37回 | 24-25年度のスタンド工事の進捗により、駐車場の利用が制限されるため、限られたスペースで稼働率向上を目指す。 |
| | | アウトプット | 大型車の誘致 | 大型バスを利用する機会が多い近隣ホテルに利用の誘致を行うことで、利用増を図ることができるため | 15件 | 24-25年度のスタンド工事の進捗により、駐車場の利用が制限されるため、限られたスペースで稼働率向上を目指す。 |
| | | 中間アウトカム | 競輪場の使用台数 | 駐車場利用者を把握する指標として重要なため | 8,700台 | 24-25年度のスタンド工事の進捗により、駐車場の利用が制限されるため、限られたスペースで稼働率向上を目指す。 |
| | | 中間アウトカム | 大型車の利用台数 | 駐車場利用者を把握する指標として重要なため | 1,170台 | 24-25年度スタンド工事の進捗により、駐車場の利用が制限されるため、限られたスペースで稼働率向上を目指す。 |
| | | 最終アウトカム | 駐車台数 | 駐車場利用者を把握する指標として重要なため | 78,000台 | 24-25年度スタンド工事の進捗により、駐車場の利用が制限されるため、限られたスペースで稼働率向上を目指す。 |
| | 財務改善 | ▲ | 事業収入 | 22年度予測値に対する25年度末の目標 | 23%減 | 24-25年度のスタンド工事期間中においても、グランドや駐車場の利用可能な範囲及び期間に応じた調整を行い、利用拡大を図る。 |
| | | | 一般管理費 | 22年度予測値に対する25年度末の目標 | 31%減 | 同上の事態に対応するため、業務を見直し支出の削減を図る。 |
| | | | 累積欠損金 | 22年度予測値に対する25年度末の目標 | 61%減 | 単年度黒字を確保し、3か年で61%の削減を図る。 |
| | 業務・組織の改革 | ▲ | 組織の最適化 | 業務の見直しによる経費削減 | 5名減 | 業務の見直しを行い、嘱託員の不補充や清掃業等の委託などにより人数を削減する。 |

経営改善計画

| | | | |
|-----|-----------|------|-------------|
| 法人名 | 株式会社 川崎球場 | 所管部署 | 建設緑政局総務部庶務課 |
|-----|-----------|------|-------------|

【2:行動計画】

| | |
|------|--|
| 計画期間 | 平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日 (3 カ 年) |
|------|--|

(1)球場事業

| 目標項目 | 現 状 | 行動計画 | スケジュール | | |
|--------------|--|---|----------|---------|---------|
| | | | H23年度 | H24年度 | H25年度 |
| スポーツ競技大会開催日数 | 春季及び秋季の土日祝日は、大会が開催されており、この時期以外の大会を誘致する。 (21年度実績 59日) | 夏季及び冬季のスポーツ競技大会を誘致すべく、営業活動を展開し大会開催日数を増やす。 | 65日 | 31日 | 40日 |
| 一般昼間の貸出 | 土日祝日の昼間は、各種競技大会や一般の利用も多い。しかし、平日昼間は、空きがあることから有効活用する。 (21年度実績 102回) | 平日昼間の時間帯利用者に対して、球場利用のサービス券配布等サービスを充実させ、利用増を図る。 | 94回 | 95回 | 95回 |
| スポーツ競技大会試合数 | 主たる競技のアメリカンフットボールは、施設面の理由から1日の試合数が概ね2試合となっている。 (21年度実績 130試合) | アメリカンフットボール大会を誘致すべく、営業活動を展開し大会の開催を増やす。 | 140試合 | 70試合 | 90試合 |
| 一般の球場利用数 | フットサル・ラクロス及びサッカースクールの利用が増加している。(21年度実績 371回) | フットサルはホームページ等でPRを行い、ラクロスは、関東ラクロスリーグの24大学を中心に誘致を行い、利用数の増を図る。 | 398回 | 390回 | 390回 |
| 観客数 | アメリカンフットボールワールドカップの会場となり、知名度は上昇した。観客席も現在4000席あり、大会の誘致ができれば観客数も増やせる。 (21年度実績 139,500人) | アメリカンフットボール1部リーグの大会をより多く誘致すべく、営業活動を展開し大会の開催を増やす。 | 130,000人 | 50,000人 | 60,000人 |
| 球場利用回数 | スポーツ競技大会開催日数及び一般の球場利用数は増加しており、球場利用回数は増加している。 (21年度実績 538回) | 大会主催者への営業活動やホームページなどでのPRにより、球場利用回数を増加させる。 | 463回 | 450回 | 450回 |

経営改善計画

| | | | |
|-----|-----------|------|-------------|
| 法人名 | 株式会社 川崎球場 | 所管部署 | 建設緑政局総務部庶務課 |
|-----|-----------|------|-------------|

(2) 駐車場事業

| 目標項目 | 現 状 | 行動計画 | スケジュール | | |
|--------|---|--|---------|---------|---------|
| | | | H23年度 | H24年度 | H25年度 |
| 駐車台数の増 | 競輪場の利用車枠の増(21年度実績 7,000台) | 競輪場へ利用枠の増加を働きかける | 10,000台 | 9,000台 | 8,700台 |
| 駐車台数の増 | 大型車両の利用増(21年度実績 1,290台) | 大型車の誘致に向けたPR活動の実施 | 1,300台 | 1,200台 | 1,170台 |
| 駐車台数 | 近隣で新たな駐車場の整備があったこともあり、駐車台数は減少している。(76,000台) | 川崎球場で開催するスポーツ競技大会の営業活動を展開し、大会の試合数や観客数を増加させることで一体管理をしている駐車場の利用を増やす。 | 90,000台 | 81,000台 | 78,000台 |

(3) 財務の改善

| 目標項目 | 現 状 | 行動計画 | スケジュール | | |
|----------|---|--|--------|-------|-------|
| | | | H23年度 | H24年度 | H25年度 |
| 事業収入の増 | 球場収入・・・試合数の増加、練習種目の増加を図る。(21年度実績 64,023千円) 駐車場収入・・・競輪場の利用枠の拡大、大型車の利用増を図る。(21年度実績 72,759千円) | 平成24、25年度はスタンド工事に伴い、収入減は避けられないが、スタンドや駐車場の利用可能な範囲及び期間に応じた調整を行ない利用拡大を図ることで、収入の減少を平成22年度比の23%減に止める。 | ▲2% | ▲21% | ▲23% |
| 一般管理費の節減 | 業務の見直しを行い、人件費の削減を行う他、省エネ等を進める。(21年度実績 108,009千円) | 工事期間中の収入減に対応するため、23年度から経費の節減に取り組み(嘱託員の不補充、清掃業委託等)、一般管理費を平成22年度比で31%削減する。 | ▲5% | ▲25% | ▲31% |
| 累積欠損金の削減 | 平成13年度以降、連続して単年度収益(黒字)を確保しており、着実に減少させている。(21年度実績 87,548千円) | 工事期間中においても、支出の縮減を図り、単年度収益を確保し累積欠損金を平成22年度比で61%削減させる。 | ▲25% | ▲42% | ▲61% |

(4) 業務・組織の改革

| 目標項目 | 現 状 | 行動計画 | スケジュール | | |
|--------|----------------------|---|--------|-------|-------|
| | | | H23年度 | H24年度 | H25年度 |
| 組織の最適化 | 正規職員2名、嘱託員5名、アルバイト3名 | 工事期間中収入減が見込まれるので、業務の見直しを行い、嘱託員の不補充や清掃業等の委託などによって、平成22年度比で嘱託員等を5名削減する。 | 6名 | 6名 | 5名 |

資金計画表

[平成23年度～平成25年度]

法人名: 株式会社 川崎球場

(単位:千円)

| 項目 | | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | |
|---------------|--------------|---------------|---------|---------|---------|
| 経常収支 | 収入 | 事業収入 | 135,800 | 110,100 | 107,350 |
| | | 雑収入 | 500 | 500 | 500 |
| | | <i>経常収入合計</i> | 136,300 | 110,600 | 107,850 |
| | 支出 | 事業費 | 19,678 | 15,491 | 14,385 |
| | | 管理費 | 96,079 | 75,635 | 70,233 |
| | | 法人税等支払 | 2,733 | 7,456 | 8,972 |
| <i>経常支出合計</i> | 118,490 | 98,582 | 93,590 | | |
| <i>経常収支</i> | | 17,810 | 12,018 | 14,260 | |
| 投資収支 | 固定資産取得支出 | 0 | 0 | 0 | |
| | 固定資産売却収入 | 0 | 0 | 0 | |
| | <i>投資等収支</i> | 0 | 0 | 0 | |
| 財務収支 | 借入れによる収入 | 0 | 0 | 0 | |
| | 借入金償還による支出 | 0 | 0 | 0 | |
| | 利息/配当金の支払 | 0 | 0 | 0 | |
| | <i>財務収支</i> | 0 | 0 | 0 | |
| 現金預金増加高 | | 17,810 | 12,018 | 14,260 | |
| 期首現金預金 | | 0 | 17,810 | 29,828 | |
| 期末現金預金 | | 17,810 | 29,828 | 44,088 | |